

文化表現学科
医療事務資格課程

2024年4月1日 更新

科目名	医療管理学概論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 たかはし ごろう 高橋 五郎
ナンバリングコード	MEA3223		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	○対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	医療技術の発展とともに良質な医療サービス遂行のため、多種多様な医療関係法規がある。そのため、医療（介護）機関に従事する医療事務職員としての領域から良好な医事業務遂行に際し病院組織とその役割分担、さらに医療行為の根拠となる関係法規の理解。さらに安定した医療の管理・運営の指標となる基礎的な医事統計（経営統計）も含めて学んでいく。						
到達目標	1. 病院組織とその役割が理解できている。 2. 医療機関における基本的関係法規（医療法・医師法・健康保険法等）が理解できている。 3. 医療機関の管理・運営ならびに経営指標となる医事統計が理解できている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1. 2. 3. 4 ）						
授業計画	第1回	内容	医療関連法規の概略	予習	テキスト20ページに目を通しておくこと。		
				復習	法規の全体像をノートにまとめる		
	第2回	内容	医療法（1）	予習	テキスト21～22ページを一読しておくこと。		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる。		
	第3回	内容	医療法（2）	予習	テキスト23～26ページを一読しておくこと。		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる。		
	第4回	内容	医療法（3）	予習	テキスト27～32ページを一読しておくこと。		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる。		
	第5回	内容	医師法（1）	予習	テキスト33～34ページを一読しておくこと。		
				復習	重要な条文のポイントをノートにまとめる。		
	第6回	内容	医師法（2）	予習	テキスト35～36ページを一読しておくこと。		
				復習	重要な条文のポイントをノートにまとめる。		
	第7回	内容	保健師助産師看護師法・薬剤師法・その他	予習	テキスト37～40ページを一読しておくこと。		
				復習	各職制資格の要点をまとめ復習する。		
	第8回	内容	医療保険制度（1）	予習	テキスト41～46ページに目を通しておく。		
				復習	医療保険制度の概要をノートにまとめる。		
第9回	内容	医療保険制度（2）	予習	テキスト41～46ページに目を通しておく。			
			復習	医療保険の種類について復習し、要点まとめ。			
第10回	内容	医療保険制度（3）	予習	テキスト47～53ページに目を通しておく。			
			復習	保険給付内容をノートにまとめる。			
第11回	内容	公費負担医療制度（生活保護法）・後期高齢者医療制度	予習	テキスト54.56ページに目を通しておく。			
			復習	各制度について要点をノートにまとめる。			
第12回	内容	介護保険法、その他の法規（労災・他）	予習	テキスト55.57～60に目を通しておく。			
			復習	各制度について要点をノートにまとめる。			
第13回	内容	診療情報と診療録	予習	テキスト17～19ページに目を通しておく。			
			復習	診療録の保管・管理について復習する。			
第14回	内容	医療機関の施設基準と医事統計	予習	配布資料に目を通しておく			
			復習	遵守すべき医療機関ルールを復習し理解する。			
第15回	内容	総括ならびに評価試験実施（文章問題）	予習	これまでのテキスト、資料に目を通しておく。			
			復習	試験出題内容をノートにまとめておく。			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	中間時に履修度確認ドリル（課題）を行い、その内容について授業時に解説していく。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的授業参加】（20%）						
教科書	『メディカルシステム論』（著者名：一般社団法人医療教育協会 出版社：一般社団法人医療教育協会）						
参考文献	適時に関係資料を配布します。						
補足事項	「医療管理秘書士」能力認定試験受験に必要な科目です。						

科目名	医療秘書実務		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 たてやま ともひろ 館山 友宏
ナンバリングコード	MEA3212		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	医療秘書に求められる資格要件は、常に患者様の心理を理解し、すべての行為について患者様への医療サービスを念頭に置かなければならない。事務職員として一般的な事務能力、医学に関する知識のみならず医療事務の倫理的知識、医療機関における役割への理解等が求められる。本講義では、疾病・患者様・家族環境等を理解し、あらゆる面からの情報をとらえる専門知識を学ぶ。						
到達目標	1. 医療秘書としてふさわしい素養、接遇対応を身につけ、医療機関という特殊な場所での仕事について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（1.2.3.4）						
授業計画	第1回	内容	医療と社会	予習			
				復習	学習した点につき再度確認すること		
	第2回	内容	医療倫理（医療機関）	予習	メディカルシステム論 P5 に目を通す		
				復習	医療倫理を中心に再度確認すること		
	第3回	内容	医療倫理（職員）	予習	メディカルシステム論 P6 に目を通す		
				復習	医療職員倫理等を再度確認すること		
	第4回	内容	患者の心理	予習	メディカルシステム論 P6 に目を通す		
				復習	患者の心理を良く理解すること		
	第5回	内容	医療従事者に求められる要件	予習	メディカルシステム論 P6 に目を通す		
				復習	医療従事者として求められていること等を再度確認すること		
	第6回	内容	接遇マナー 1（立ち居振る舞い）	予習	医療の接遇 P32～39 に目を通す		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
	第7回	内容	接遇マナー 2（言葉遣い）	予習	医療の接遇 P40～49 に目を通す		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
	第8回	内容	接遇マナー 3（身だしなみ）	予習	医療の接遇 P24～27 に目を通す		
				復習	学習した点につき再度確認すること		
第9回	内容	接遇マナー 4（挨拶・表情）	予習	医療の接遇 P28～31 に目を通す			
			復習	学習した点につき再度確認すること			
第10回	内容	接遇マナー 5（電話対応）	予習	医療の接遇 P50～61 に目を通す			
			復習	学習した点につき再度確認すること			
第11回	内容	医学と医療の目的・日本の近代医療	予習	メディカルシステム論 11 ページに目を通す			
			復習	学習した点につき再度確認すること			
第12回	内容	医療機関・組織の役割	予習	メディカルシステム論 P15～16 に目を通す			
			復習	医療機関の「組織の役割」等について、学習内容を再度確認すること			
第13回	内容	医療機関・組織の運営 1	予習	メディカルシステム論 P11～14 に目を通す			
			復習	医療機関の「組織の運営」について再度確認すること			
第14回	内容	医療機関・組織の運営 2	予習	メディカルシステム論 P11～14 に目を通す			
			復習	医療機関の「組織の運営」について再度確認すること			
第15回	内容	「医療秘書実務」総まとめ	予習	これまでの学習内容全体に目を通すこと			
			復習	学習した内容全般を振り返り、理解不足の箇所等につき、再度確認すること			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業に関する理解度確認の為の「小テスト」（理解度テスト）を実施した際には、当該テストを通じて授業内容の習熟度につき、各学生へのフィードバックを適宜、行うこととする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【課題提出状況】（30%）						
教科書	『メディカルシステム論』（著者名 一般社団法人医療教育協会、出版社名 一般社団法人医療教育協会） 『医療の接遇』（著者名 医療タイムス社・教育研修事業部編、出版社名 医療タイムス社）						
参考文献	なし						
注意事項	「医療管理秘書士」能力認定試験受験に必要な科目です。						

科目名	医学一般		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 たかはし ごろう 高橋 五郎
カンパリクコード	MEA3224		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他()						
授業の内容	人体のしくみと生理機能および代表的な病態等、医療従事者として求められる医学の基礎的知識を身に付け、問診から検査・診断・治療の一連の医療行為流れを理解できるようにする。						
到達目標	1. 人体の各組織・器官の名称を説明できる。 2. 人体各器官の働き・しくみを説明できる。 3. 診断補助としての臨床検査(尿・血液検査)の目的とその意義が説明できる。						
学位授与方針	幼児教育学科() 地域保育学科() 文化表現学科(2.3.4)						
授業計画	第1回	内容	からだの構造：細胞と組織・器官の働き	予習	テキストP6に目を通しておく		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる		
	第2回	内容	骨格系/筋系：人体を構成する骨格の名称としくみ	予習	テキストP3～P8まで目を通しておく		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる		
	第3回	内容	循環器系；心臓ならびに血液循環の体順庵と肺循環のしくみ	予習	テキストP10、P12～P13まで目を通しておく		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる		
	第4回	内容	呼吸器系；吸気・呼気によるガス交換のしくみ	予習	テキストP10、P12～P13まで目を通しておく		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる		
	第5回	内容	消化器系(1)：消化器各器官の構造と機能	予習	テキストP17～P18まで目を通しておく		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる		
	第6回	内容	消化器系(2)：消化器各器官の構造と機能	予習	テキストP19～P20まで目を通しておく		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる		
	第7回	内容	泌尿器系：腎臓の構造と機能	予習	テキストP20を一読しておく		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる		
	第8回	内容	第1回から7回までの総括Q&Aと履修度確認試験(試験は○×式と記述式)	予習	第1回～7回までのドリルを再確認する		
			復習	ドリル・課題で解らない項目について復習する			
第9回	内容	内分泌系；内分泌器官とその働き	予習	テキストP23～P24まで目を通しておく			
			復習	ホルモン名称と働きをノートにまとめる			
第10回	内容	神経系：中枢神経と末梢神経の働き	予習	テキストP25～P27まで目を通しておく			
			復習	神経の働きについて要点を復習する			
第11回	内容	感覚系：感覚の種類と受容器について。	予習	テキストP28～P29まで目を通しておく			
			復習	講義内容の要点をノートにまとめる			
第12回	内容	栄養と代謝：五大栄養素とビタミン欠乏症。	予習	テキストP50に目を通しておく			
			復習	ビタミンの種類と欠乏症について復習する			
第13回	内容	臨床検査；尿検査とその目的・意義について。	予習	テキストP35～P36まで目を通しておく			
			復習	講義内容の要点をノートにまとめる			
第14回	内容	臨床検査；血液成分とその意義について。	予習	テキストP36に目を通しておく			
			復習	講義内容の要点をノートにまとめる			
第15回	内容	第8回から14回までの総括Q&Aと履修度確認試験(試験は○×式と記述式)	予習	第9回～14回までのドリルを再確認する			
			復習	ドリル・課題で解らない項目について復習する			
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。						
課題へのフィードバック	理解度確認ドリルの解説とコメント						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/()しない 成績評価の方法：筆記試験(50%)、レポート・課題(50%)、作品・発表()%、実技()%、授業態度【 】()%						
教科書	医学一般(著者：一般社団法人医療教育協会 出版社：一般社団法人医療教育協会)						
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)						
補足事項	講義ごとに補足資料(プリント)を配布します。						

科目名	薬学一般		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 たかはし ごろう 高橋 五郎
ナンバリングコード	MEA3225		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	診察から検査、診断、投薬、治療等の過程において発生する処々の医療行為において、医事業務従事者に求められる身体のしくみと生体機能ならびに薬学（薬物療法）について基礎的な知識を学び、代表的な疾患とその病態・成因等について説明していく。						
到達目標	1. 投薬・注射の内容と種類が説明できる。 2. 生化学的検査、生体検査の目的・意義について説明できる。 3. 代表的な疾病の成因、病態、症状が説明できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2.3.4 ）						
授業計画	第1回	内容	薬物療法と医薬品の種類について	予習	テキストP30～31を一読しておくこと		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる		
	第2回	内容	投薬・注射の医療行為（用語）と薬物代謝	予習	投薬の配布プリントを一読しておく		
				復習	講義内容の要点をノートにまとめる		
	第3回	内容	循環器系の疾患（高血圧）と循環器検査	予習	循環器の配布プリントを一読しておく		
				復習	循環器疾患の要点をまとめておく		
	第4回	内容	消化器疾患とその成因（1）	予習	消化器疾患の配布プリントを一読しておく		
				復習	主な疾患とその要因をノートにまとめる。		
	第5回	内容	消化器疾患とその成因（2）	予習	消化器疾患の配布プリントを一読しておく		
				復習	主な疾患とその要因をノートにまとめる		
	第6回	内容	糖尿病の成因と病態。	予習	糖尿病の配布プリントを一読しておく		
				復習	講義内容のノートを整理する		
	第7回	内容	脳血管疾患と神経系疾患について	予習	脳血管・神経系プリントを一読しておくこと		
				復習	脳・神経と疾患の要点をノートにまとめる		
	第8回	内容	第1回から第7回までの総括Q&Aと履修度確認試験（試験は〇×式と記述式）	予習	第1回～7回までのドリルを再確認してくる		
				復習	問題をピックアップし、ノートにまとめる		
第9回	内容	泌尿器・生殖器疾患の病態と検査	予習	泌尿器系の配布プリントを一読しておく			
			復習	疾患と診断検査名をまとめる			
第10回	内容	代表的な血液疾患（貧血、白血病、自己免疫疾患）	予習	血液疾患の配布プリントを一読しておくこと			
			復習	血液検査の目的意義をノートにまとめる			
第11回	内容	代謝疾患と内分泌系疾患	予習	テキストP23～24ならびにプリントの一読			
			復習	分泌ホルモンと器官の関係をまとめる。			
第12回	内容	生化学的検査と生体情報（正常値・異常値）	予習	検査の配布プリントを一読しておく			
			復習	検査とその目的についてノートにまとめる。			
第13回	内容	生体検査（臨床検査）と生体情報（画像診断）	予習	検査の配布プリントを一読しておく			
			復習	検査とその目的についてノートにまとめる			
第14回	内容	感染症（細菌・ウイルス）と抗菌薬	予習	テキストP45～49ならびにプリントを一読しておく			
			復習	感染症の種類をノートにまとめる			
第15回	内容	第9回から第14回までの総括Q&Aと履修度確認試験（試験は〇×式と記述式）	予習	第9回～14回までのドリルを再確認してくる			
			復習	問題をピックアップし、ノートにまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。						
課題へのフィードバック	理解度確認ドリルの解説とコメント						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（50%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）						
教科書	『書名：医学一般』（著者名：一般社団法人医療教育協会、出版社名：一般社団法人医療教育協会）						
参考文献							
補足事項	講義ごとに補足資料（プリント）を配布します。						

科目名	医療事務総論		単位数	1	授業時間数	16	担当教員	たかはし ごろう 高橋 五郎
ナンバリングコード	MEA3222		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	国民皆保険制度により、すべての人は何らかの保険に加入し医療・介護のサービスを適時に受けられるセーフティネットの社会において、サービスを提供する医療従事者として身につけなければならない医療保険制度（介護保険制度包含）と保険診療のしくみを理解し、医事業務一連の流れを理解する。							
到達目標	1. 医療保険制度（介護保険制度含む）の体系が理解できている。 2. 医療サービス提供に係る簡単な医療行為を診療録から読み取れる。 3. 外来受付窓口業務一連の流れが理解できている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2.3.4 ）							
授業計画	第1回	内容	医療（医学）の発展と医事業務	予習	医療事務業務について調べておく			
				復習	医事業務の重要性を復習する			
	第2回	内容	医療機関の種類と組織	予習	テキスト②のP11～15に目を通しておく			
				復習	医療保険の種類をノートにまとめる。			
	第3回	内容	医事業務（窓口業務/入退院業務）の概要	予習	テキスト②のP13～14に目を通しておく			
				復習	医事業務全体像を再復習する			
	第4回	内容	保険診療のしくみと医療保険制度のあらまし（1）	予習	テキスト②のP43～45に目を通しておく			
				復習	保険診療しくみを復習し、理解しておく			
	第5回	内容	保険診療のしくみと医療保険制度のあらまし（2）	予習	テキスト②のP46～50に目を通しておく			
				復習	保険給付について要点をまとめる			
	第6回	内容	療養担当規則ならびに介護保険制度の概要	予習	配布プリントに目を通しておく			
				復習	医療行為におけるルール、介護保険の概要復習			
	第7回	内容	窓口業務～会計業務と診療報酬請求 （基本診療料と特掲診療料）	予習	テキスト①のP7～10に目を通しておく			
				復習	レセプト作成に至る一連の流れを再復習する			
	第8回	内容	医事業務総括と履修度確認期末試験（筆記）	予習	第1回～7回の履修についてQ&A			
				復習	履修到達目標への確認と再復習			
第9回	内容		予習					
			復習					
第10回	内容		予習					
			復習					
第11回	内容		予習					
			復習					
第12回	内容		予習					
			復習					
第13回	内容		予習					
			復習					
第14回	内容		予習					
			復習					
第15回	内容		予習					
			復習					
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポート・課題に対する内容確認とコメント（添削）。提出されたレポート等は評価対象となります。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（50%）							
教科書	① 『診療報酬の実務』（著者名：一般社団法人医療教育協会、出版社名：一般社団法人医療教育協会） ② 『メディカルシステム論』（著者名：一般社団法人医療教育協会、出版社名：一般社団法人医療教育協会）							
参考文献								
補足事項	「医療管理秘書士」等能力認定試験受験の必須履修科目です。 適時に補足資料（プリント）を配布します。							

科目名	医療保険請求事務演習		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	たかはし ころう 高橋 五郎
ナンバリングコード	MEA3226		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	診療報酬明細書（レセプト）の作成演習を重ね、医療機関で行われる医療行為から診療報酬請求の実際と報酬算定に係る個々の算定要件等の知識を習得。また、医療機関等における医事窓口業務での診療報酬料金化と正しい診療報酬明細書（レセプト）作成技能を養う。							
到達目標	1. 基本診療料と特掲診療料の算定ルールが理解できている。 2. 診療録から診療情報、医療行為等の内容を正しく読み取ることができる。 3. いろいろな傷病名に対応した診療報酬明細書（レセプト）を正しく記載できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2.3.4 ）							
授業計画	第1回	内容	基本診療料と特掲診療料	予習	基本的な診療報酬の内容について調べる			
				復習	診療報酬体系の概要をまとめる			
	第2回	内容	初診料の算定ルールと算定演習	予習	テキスト（プリント）で初診料について調べる			
				復習	ドリルの算定問題を演習し、理解を深める。			
	第3回	内容	再診料の算定ルールと算定演習	予習	テキスト（プリント）で再診料について調べる			
				復習	ドリルの算定問題を再演習し、理解を深める。			
	第4回	内容	医学管理料と在宅（往診）医療料の理解と算定演習	予習	医学管理料と往診料について調べる			
				復習	ドリルの算定問題を再演習し、理解を深める。			
	第5回	内容	投薬の種類と投薬料	予習	薬剤の種類について調べる			
				復習	ドリルの筆記問題を再演習し、理解を深める。			
	第6回	内容	投薬料の算定演習（内服薬）	予習	テキスト（プリント）で内服薬について調べる			
				復習	ドリルの算定問題を再演習し、理解を深める。			
	第7回	内容	投薬料の算定演習（屯服薬と外用薬）	予習	テキスト（プリント）で屯服薬・外用薬について調べる			
				復習	ドリルの算定問題を再演習し、理解を深める。			
	第8回	内容	注射の種類と注射料の算定演習	予習	注射料について、テキストに目を通しておく			
				復習	ドリルの算定問題を再演習し、理解を深める。			
	第9回	内容	臨床検査の種類と検査料の算定演習	予習	検査料について、テキストに目を通しておく			
				復習	ドリルの算定問題を再演習し、理解を深める。			
	第10回	内容	処置・手術料の概要と算定演習	予習	処置料・手術料の概要について調べる			
				復習	ドリルの算定問題を再演習し、理解を深める。			
	第11回	内容	画像診断の算定ルールと算定演習	予習	画像診断について、テキストに目を通しておく			
				復習	ドリルの算定問題を再演習し、理解を深める。			
	第12回	内容	リハビリ・精神科/入院基本料の概要と算定	予習	リハビリ料・精神科・入院料について、テキストに目を通しておく			
				復習	ドリルの算定問題を再演習し、理解を深める			
	第13回	内容	外来診療録からのレセプト作成（1）	予習	レセプト記載要領に目を通しておく			
				復習	算定実技問題を再演習し、理解を深める			
	第14回	内容	外来診療録からのレセプト作成（2）	予習	例題の診療録の医療行為と点数を調べる			
				復習	算定実技問題を再演習し、理解を深める			
	第15回	内容	基本診療料と特掲診療料の総括（期末試験実施）	予習	これまでの各算定ルールについて、全体に目を通しておく			
				復習	算定実技問題を再演習し、理解を深める			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	各項目について履修度確認ドリルを行い、授業内で説明（理解度確認）します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（40%）、作品・発表（%）、実技（%）、授業態度【 】（%）							
教科書	『診療報酬実務』（著者名：一般社団法人医療教育協会、出版社名：一般社団法人医療教育協会） 『医科診療報酬点数表・点数早見表』（著者名：一般社団法人医療教育協会、出版社名：一般社団法人医療教育協会）							
参考文献								
補足事項	適時、補足プリントを配布します。							